

あすぴあ登録団体 & 市民活動団体の紹介

こんな活動をしています

Vol. 43

10/22 に開催された「元気村まつり」に初めて参加した団体の中から、あすぴあ広報部会が取材しました。

SORA工房

環境問題に関心のある人もない人も、「そら」のことならきっと興味を持つにちがいないと思い、代表の河原博さんに取材を申込みました。

活動は現在2本立てです。第1には比較的安価なソーラー発電機の試作品をつくること(4、5年で元がとれる)。自宅を実験台にして屋根に載せたソーラーパネルでできた電気をトラック用バッテリーで貯めて、冷蔵庫も洗濯機もエアコンも動かせるという話です。河原さんはエコダイラネットワーク*1に



▲独立型ソーラー発電機(左:閉じた状態、右:開いた状態)



▲リヤカー型発電機

属しているので、こだいら環境フェスティバルにリヤカー型発電機で出展したことがあります。その後、改良して庭に設置できる折りたたみ式の独立型ソーラー発電機もつくりました(写真下)。

第2には自然エネルギーを活用すること。雨水を貯めて庭の草花への水やりのほか、トイレの水に使えるかと考えているということでした。河原さんは、雨水が通説通り腐らないかどうかを調べるため、雨水をタンクに貯めて一年間時間が経つのを待ちました。きれいなまま貯水タンクに残っていることを確認してから、ポンプを使って勢いよく水が出るようにしました。

SORAは太陽光発電を意味するソーラーではなく、「空」のことで、SORA工房は現在、河原さん一人の団体です。なぜSORA工房

をつかったのかを尋ねると、「東日本大震災直後の計画停電で生活が縛られるのがイヤだったから」という答えが返ってきました。「停電対策ができれば気持ちが楽になったんです」とうれしそうな河原さん。これからのことは、「まだまだやりたいことがたくさんあり、何処に落ち着くのか今はまだ見えてません」と笑っていました。(谷)

*1 市民団体。事務局は小平市環境政策課。小平市の環境、ひいては地球環境をよくしていきたいという思いで活動。



「元気村まつり」の様子 [雨水利用の仕組み] ▶

DATA

メール●sora202109@outlook.com

折り紙を楽しむ会

折り紙を楽しむ会は、令和3年10月、萩山団地の悠々クラブの中の1つの活動として誕生しました。代表の和久井君代さんのご自宅のドアに飾ってあった折り紙作品を見た方から、ぜひにと請われたことがきっかけでした。今の会員数は10人です。

毎回「季節が感じられて飾れるもの、限られた時間内に全員が仕上げられるもの」から、和久井さんが作品を選んで決め、必要な折り紙の用意をします。11月は「クリスマスリース」。口の字に並べたテーブルの内側で、和久井さんが忙しそうに手順や折り方のポイントを伝えるのに立ち



▲丁寧に折る



▲完成一番乗り

回っていました。「この角と角をあわせて……ここをクリアすれば大丈夫」「どこを折るって?」「反対よ、それ」「あら、どこが違ったのかしら?」。会員の皆さんも立ち上がって互いにアドバイスをしたり偵察をしたり、とにかく楽しそう。始めて間もない会員には頼もしい先輩会員もいます。

「完成で〜す」「いいね、いいね」。出来上がったクリスマスリースを掲げながら褒め合い、笑いの中で作品作りは終わりました。

部屋の後ろには和久井さんが半月かけて作り上げたクリスマスツリーが貼ってありました。2.5cm角の折り紙も含めて600枚くらいの折り紙を使った大作です。



今年の大作 ▲

飾れば人が集まってくる折り紙作品。今年の元気村まつりでは子どもたちにも大人気でした。それを見越して、お土産用のランドセルやコマなどの小作品も必ず作っておくそうです。

「笑いの中で楽しんでリラックスできる」がモットーのこの会は、この日この時間が楽しくて、と集う会員さんで盛り上がっていました。(さ)



ディテール部分。2.5cm角の折り紙で作ったもの ▲

DATA

活動●萩山団地集会所で月1回、第4木曜日
材料費●100円。のりとハサミは持参
連絡先●042-348-2104(あすぴあ)

NPO法人ラスキア

1999年にNPO法人設立。足立区で訪問看護ステーションとして出発したラスキア。2005年に小平に移転し、活動もゆるやかに変化。

現在では、「いろいろな人たちが混ざれば、お互いのプラスになる」とたまり場づくりをしています。

村上さんは、公認心理師、アート療法士の資格を持ち、ラスキアの活動の中心となっている方。



村上さん ▲

長年続けた訪問看護ステーションは2022年に閉鎖し、今は公園や公共施設で、絵や音楽で自分を表現するアートセラピーを実践しています。

「病気を治すことをターゲットにしない」「ほんとにやりたいことはなに?」という問いかけを大



「元気村まつり」での展示ブースの様子 ▼



切にして、「ひととひとが緊張感なくまざる」ことを目標に交流の場づくりを進めています。

今年(2023年)の夏は、花小金井のタケノコ公園でビデオ撮影をして人集めをしたそうです。「なんとなく人が集まってくるんですよ」と楽しそうに話されていました。そのほか、絵本づくりやジオラマ、ぬいぐるみづくりなども行っているそうです。

これからの発展、展開に期待したいと思いました。

※「ラスキア」の由来は、ヘンデル作曲のオペラの有名なアリア「Lascia la spina, cogli la rosa」だそうです。理事長(ご次男)命名。(伊)

DATA

活動●第2・4水曜日、第2・4土曜日
メール●lascia@outlook.jp
連絡先●042-313-6161(留守電)